

対談者

武豊町 町長

初山 芳輝 様

半田青年会議所 理事長

曾根 香奈子



「武豊は一つ」

曾根香奈子（以下曾根） それではよろしくお願ひします。

武豊町長初山 芳輝様（以下町長） こちらこそお願ひします

曾根 お時間いただきましたことに感謝しております、ありがとうございます。

また、長年半田青年会議所の活動にご理解とご協力を頂いておりまして、本当に感謝しております。

まず、「ゆめたろうプラン」が策定されていて、来年度が最終年とのことで合っておりますでしょうか。

町長 はい、その通り2020年までの計画としております。

曾根 その中で私が特徴的だなと思ったのが、「誰もが幸せを感じられる住みよいまちづくり」という項目です。「誰もが」



という言葉は、今年の半田青年会議所の基本理念にも入れています。やはり、町長がお考えになるのが、住民一人一人がという視点であるのかなというのと、私も青年会議所のメンバー一人一人が輝いて欲しいということがありました。

まちづくりという観点で各首長様にはずっとお聞きしているのですが、ゆめたろうプランは7つの課題を提示しながら進めていたと思います。それでは、町長の考えております「活力あるまちづくり」がどういったものなのかお話しただければと思います。よろしくお願ひします。

町長 非常に難しい課題だと思います。

まず、「心つなぎ みんな輝くまち 武豊」なんです。みんな、今言われた通り一人一人というのがあるのですが、例えば商店とか農業とか工業とかそういった方々も全ての人が輝く、そういう意味合いを持ってみんな輝くということです。

私が町長になってから、人だけでなく色々なものの、「森羅万象」という言葉でしたでしょうか、あらゆるものというように意味合いを込めて、みんながそれぞれの色で輝くということを、この総合計画ですと今までやってきました。

「心つなぎ」というのがまさに、山車祭りもありますし、あるいは花火大会も

あるし、そういった時に色々な人がここに来て出会う、みんなが心を繋がつていくということがこれから大切なのかなというように思っています。

活力あるということですが、これも広い意味があるかなと思いつながら色々考えておりましたが、農商工バランス良く発展していくこと、一人一人が元気に暮らしていただくこと、これが大切なことかなと思っています。

武豊町の場合、4層構造の土地利用を基本としています。これは昭和47年に私が役場に入って、51年に第一次総合計画が出来たのですが、その時の担当者として私の名前が残っております。昭和47年頃に総合計画という言葉が使われ始めて、国の計画として「三全総」とか

「四全総」とかありまして、それを受けてそれぞれの自治体が長期計画という総合計画といったものを作りました。うことになりました。その時に私は民間に2年間勤めた後に役場に就職しましたら、その担当者になった次第であります。曾根 役場に就職してすぐにその担当になったのですか。

町長 そういうことです。企画課に配属になってから、あなたの担当は総合計画を作ることだと言われました。でも、その計画作成を通じて色々勉強になりました。名工大の研究所に西山先生という方がおみえになって、総合計画をその先生と一緒に作って作っていくと、手取り足取り教えていただきました。

この間も計画を読み返していたのですが、その時のことがほぼ当たっております。昭和47、8年の頃の予測として、武豊の将来人口がどれだけになるのだろうかということで、5万人がいいところでしょうという話をしました。町の面積が25平方キロしかありませんので、人口をどんどん増やせば良いということではなくて、その中に住める人、残すべき自然、必要な商業、工業地帯などを考え、総合的に勘案して5万人がいいところでしょうという話でした。それが今4万3

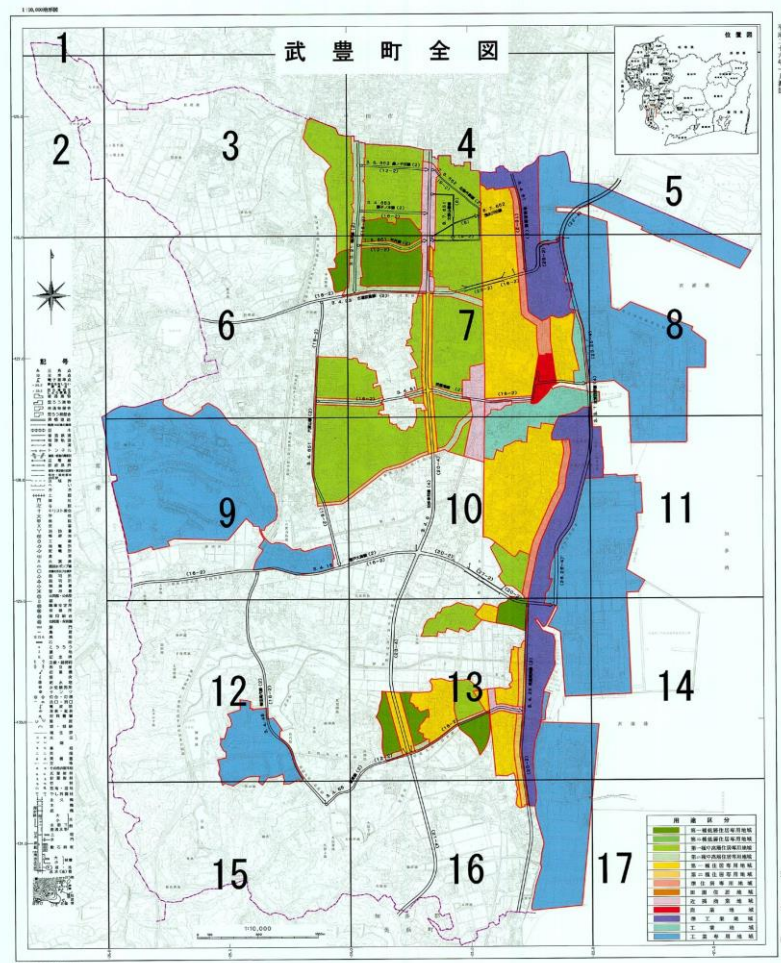
千500人ですからだいたい当たっておりますね。

曾根 そうですね。

町長 考えてみれば、どんどん宅地開発するか、あるいは工業を誘致するかという選択もゼロではないですけど、私としては自然も残しながら、農業は農業として頑張ってもらった方がいいし、住宅は住宅で優良な住宅地としての整備をする。武豊の場合は市街化区域のやれるところはほとんど土地区画整理事業を行いました。そこに多くの人が生活していますので、それなりの人口密度であると思います。

4層構造ということで申し上げましたが、この地図を見て話しをさせていただきました





画像は武豊町HPより

きますと、臨海部の水色の部分が工業専用地域で、黄色が住宅地です。

曾根 はい

町長 それから真ん中の富貴の方にいくと田んぼや畑の模様が見えると思うのですが、これが農地としていわゆる残す部分。それから一番西の方が警固山（けいごやま）とか自然公園があつて、それが緑地帯ということです。このように工業地、住宅地、農業地、緑地帯というような帯で大きくくくれば、町の構造が4層構造ということですよ。

話は変わりますけども、武豊のインター知多中央道が出来たのが昭和45年のはずで、大阪万博と同じ年に中央道が出来ました。武豊はインターがこの一つしかないのですが、その当時に西山先生はもう一つ欲しいねというようなお話をされていました。

その50年近く前に考えたことが、今になって武豊知多インターチェンジということで計画が具現化しようとしていまして、現実としてそれほどずれていなかったと思います。そういう必然とかを大

事にするという意味合いで、ずらしたくないという気持ちもありました。

そういったことで、バランスよく町が発展していくこと、人も元気に交流を図っていくことが大事なかなと考えていますし、当時は非常にいい勉強をさせていただいたと思います。

行政の役割というのは、いただいた税金に付加価値をつけて町民にお返しをするということと、道路とか公園などのインフラの整備をするということが主だった仕事だと考えています。それらをどう使ってもらふのかということは、そのための誘導策は考えていけないとは思いますが、基本的には町民の方々に考えて使っていたらいいと思います。

例えば「ゆめころんくるくるバス」というものが2台走っているのですが、客を乗せずに空気ばかり運んで何やってるのということも言われますが、それは間違いなのだと思います。行政サービスとして乗る環境は整備しているのであつて、それを有効活用するのかもしれないのかは、町民の方々の選択しだいであると思います。だから行政のやる仕事で100点満点はないと思いますね。

ですから行政として何かしようとする際に、町民の方々からの意見を聞いて、

こういう部分に気をつけてください、と言葉をかけてくれる立場として議会があると思います。それが地方自治の原則・在り方であると思いますから、行政側と議会側が両輪として進んでいくというのが行政の基本的な在り方かなというように思います。

先ほど申しあげたように、みんながそれぞれ元気になつてもらう、活力あるところにするというのは、ある意味商工関係者が知恵を絞っていただきたいと思います

例えば、行政としては公園を作ります、みゆき通りを広げます、それから臨海部に地域交流センターやぎやらしい夢乃蔵も作らせていただきましたので、そこにもどうやって人を呼び込むかは商工会とかそういったところの皆さんがお知恵を出し合つて、人を呼び込むなりあるいは販売促進をしていくなりしていただきたいです。行政が関与しないというわけではなく、町民の皆様が主流として動いていただいて、足りないところは行政が補助しますよというような感じだと思えます。こんな事業をやりたいのだからこまでしかお金がないので、なんとか行政として協力してもらえないのか、というところが補助金の在り方かなと思います。

皆さんが元気にされているのはありがたいし、協働のまちづくりとか色んな言葉がありますが、公園の管理でも地域の方々が中心となつて草を刈つてやろうかなとか、そういうようにやつて頂くこと、これが大事なことになると思います。

富貴の保育園のすぐ近くに西側公園っていうのがありまして、ジャングルジムなどではなく、芝がスロープみたいになつていて、それが自然の遊具になつています。そこで保育園から小中学校から高校生まで、みんなが一緒に仲良く遊んでいて、近くを通る時に遊んでいる姿を見ることが出来るというのが一番いいと思います。



自分達で公園の管理をしていこうという気持ちになる、それが町の活力とか繋がりとということになると思います。これはお金では買えないことだし、仕掛けられないことであると思います。

今は武豊の体育館はフル活動していますが、今度町に温水プールを作るものですから、そこにもトレーニングルームが必要であると考えています。皆さんが一生懸命になつて、自分の健康を大切にすることというのは大変ありがたいことですし、今日も昼ご飯を食べてた時に、「体操とかそういった機会を色々やらせてもらつて、おかげで健康で過ごすことが出来るから、町長さんにありがとうね」と一言伝えたくて」と言つて声を掛けていただきました。あまり褒められることはないので、苦情かなと思つて構えたんですけど、褒められて良かったと思います。

曾根 ですね

町長 また、武豊の場合は憩いのサロンが13区あります。そういったところで、お年寄りの方が集まつてわいわいガヤガヤと世間話をしたり体操をしたりしています。武豊町では、今度65周年を記念してスマイル体操というのを作りました。youtubeで武豊町、スマイル体操で検索すると出てきます。

曾根 今度検索してみます。

その動画は、半田青年会議所のfacebookで案内させていただいてもよろしいでしょうか。

町長 いいですよ。宣伝をしたいですから、ぜひ情報発信してください。そして保育園なんかには動画のCDを配ったのですけど、先生達も1枚しか持っていないので、保育園で見られなかったのです。ですから、家でも見られるようにして知ってもらわないといけないと思います。y o u t u b e で配信しています。座ってやるタイプとか立ってやるタイプとか色々あります。先ほども言



[https://www.youtube.com/channel/UCAn9Jay](https://www.youtube.com/channel/UCAn9JayVbV6J-Tm0rWoNCSQ)

[VbV6J-Tm0rWoNCSQ](https://www.youtube.com/channel/UCAn9JayVbV6J-Tm0rWoNCSQ)

画像は武豊町HPより

ったように保育園と公民館が隣接したところだと、お年寄りと一緒にやってスマイル体操をやるものですから、お年寄りも非常ににこやかな顔になってくるというような感じですよ。

それらを全部総称して武豊町は住んで良かったまち、もしくは住んでみたいまち、といったことに繋がっていいのかなと思いますし、それが活力ということに繋がると思っています。

曾根 正直なことを申しますと、活力あるまちづくりというテーマですと、その焦点を絞ることが多いと感じていましたので、この「ゆめたろうプラン」を前もって読ませていただいた時に、7つの課題が出ていましたので、多いのではないのかなと思っていました。ですが、お話を聞いていて、今のお話が全部分かりました。

町長 そうですか。

曾根 工業も商業もお年寄りも子供たちも全部一括りということですね。それが7つの課題に繋がるのだなということと、この7つの課題一つ一つに、子どもに向けてという部分と高齢者に向けてという部分があり、それらがどういうふうな、活力あるまちづくりに繋がるのかというところが、今回お話を聞いてよく分

かりました。ありがとうございます

町長 ありがとうございます。「武豊は一つ」という言葉がありますが、ご存じでしょうか。これは安全・安心・あいさつという3A運動といったものを、小中学生と一緒にやってやりましょうということ、今3600人程の人がこの言葉に賛同していただいています、バッチもつけていただいています。

曾根 素敵な言葉ですね。その言葉の意味として、「誰もが」ということと、「一人一人」ということが含まれているのかなと思いました。

町長 あまり褒めていただくと照れてしまいますね、ありがとうございます。

曾根 本当にあの7つの課題を読んだ時に、これだというポイントがどこなのだろうと思ったのが正直なところでした。ですから、子どもと高齢者、学生や社会人といった町民全てをひっくるめて活力を持つていくということを感じました。

まだまだ浅はかな私なので勉強になりました。ありがとうございます。

町長 こちらこそ、ありがとうございます。

曾根 今、活力あるまちづくりということで、お話をお聞きしました。我々半田青年会議所に何か期待することとかあれ

ば教えていただきたいのですが。

町長 青年会議所の関係の活動は私もよく理解はしていないのですが、色々なこういう社会奉仕団みたいな形で、ライオンズやロータリーとかいろいろとありますね。私も立场上ライオンズクラブに所属をさせていただいております。

今武豊ライオンズだと、子どもたちの保育園での砂場消毒とか、献血とかそんな社会的なことをやらせていただいているので、単発で終わるのではなく、それをずっと続けていくことが大事なかなと思います。

ですから、今年のこういった活動も継続性というかあるのか分からないのですが、まさにSDGsですかね、こういった内容を絞り込んでやられるといいなと感じています。

曽根 まさしくその通りだと思います。

SDGsについては後ほど話をさせていただきますこうと思いましたが、町長から先程いただいた資料に、奇遇にもSDGsの話題が記載されていますね。

町長 実はこの前、日本福祉大学の担当課長さんの紹介で、千頭先生に先週の金曜日に講演に来ていただきました。お話をさせていただいたのです。その内容というのが、武豊バージョンのSDGsなの



です。ですから、持続可能な武豊づくりの目標が必要だということで、武豊版SDGsを策定し、頑張っているこの17項目をやっていきましようということでした。そして、武豊の人口とかそのあたりのこともお話いただいて、武豊町としてそれを総合計画の中にどう活かせるのかというようなアドバイスもいただきました。

曽根 実は、我々半田青年会議所も先日、半田市社会福祉協議会さんご紹介で、日本福祉大学の学生に対してSDGsカードゲームのセミナーを開催させていただきました。

町長 世間は狭いのですかね。青年会議

所さんはお若い方達が多くお見えですの、何か継続してこういったことをやっているということを外にアピールしてもいいのかなと思います。何か目に見えるような形で、youtubeというのもその手段の一つだと思います。

ライオンズもロータリーもそうですけど、継続していくということは難しいことだと思います。ライオンズが解散した町もあると聞きしましたし、武豊町でも子供会の減少ですとか、区への加入率も3割程度に下がってきているという現実があります。

曽根 私も団体をいかに維持していくのが大きな課題かなと思います。

先程おっしゃっていた、繋がりというもののが大切だと感じています。世の中自体の繋がりをいうものが薄くなっている状況になっているのかなと思います。ここで住むと決めているのですから、自分からの繋がりを求めても良いのかなというのは思います。

年々青年会議所も毎年のことながらメンバーを増やすために拡大をしています。本来であれば、入りたいと思われる組織にはなるべきなのです。入会してから、良い組織であると感じていただけるようになっていきます。子供会とかも同じ

だと思いましたが、私の地元も無くなってしまいました。

町長 無くなってしまったのは、半田市全体でですか。

曾根 全体ではないです。地域によりまずね。

町長 武豊町でも一緒ですね。

曾根 つながりという部分ではどこかは求めているかといけないということとは、青年会議所活動をやっていると思いますね。

町長 私もみんながスマホで下を向いたまんまじゃないかと思っていますね。

曾根 良くも悪くも青年会議所活動自体は、人数が減ったとしても前を向いて頑張っていると思います。

それでは町長からSDGsのお話をさせていただきますので、こちらの話に移ります。

SDGsを今年は半田青年会議所といいますが、日本全国にある青年会議所で広めていくということを実施しています。SDGsについての講習を開催したとお聞きしましたが、武豊町役場の方々全員でこのように勉強されているということでしょうか。

町長 この講習会では、総合計画の第6次を作るにあたり、町の職員も関係者だ

けが知っているということではないけないので、みんなが同じレベルになろうということと勉強会を実施いたしました。そのときにたまたま福祉大学の担当課長が知っていて、地域連携推進機構長の千頭先生に来ていただいて講演をしていただくことになりました。そしたら先生の資料の中にSDGsの項目があったということです。この話をしてほしいとお願いしたわけではないのです。

曾根 先生がこちらをお持ちくださったということですね。

町長 これとかぶる部分があるだろうなという部分があったと思いますね。

曾根 やはりSDGsを私達も推進するにあたって、初めからわかっているわけではありませんし、今も理解しているかと言われるとそうでない部分もあります。が、1年間色々な首長様と対談させていただいて、推進という形で色々なところに行かせていただいております。そこは、担当が変わりまして彼女の方から話をさせていただきます。

資料をお持ちしましたので見てくださいます。

町長 SDGsのマークがドーナツみたいに回っているのは何か意味があるのですか。

曾根 持続可能であるという部分を表しているマークになっています。

間瀬理子（以下間瀬） よろしくお願いたします。

千頭先生の資料ですすでにまとめられていますのでこれに補足する形になると思います。

SDGsは今年から理事長所信でも触れられていて、初めて耳にした言葉になります。SDGsは国連が採択したことというのを聞きまして、難しそうだなと最初は感じました。カードゲームでの体験を通じて思っていたほど、特別に意識を取り組むものではなく、元々青年会議所や武豊町さんが実施していた活



動に意識してあてはめることで、事業の質をあげることができるということに気付きました。

青年会議所が今まで実施していた公開討論会というものはSDGsのゴールの4, 6, 7に当てはまるのですが、知らずに討論会を開催するのではなく、SDGsを意識しながら開催することで質を高めた討論会を開催することができるということを感じることができました。武豊町さんの活動であてはまるものは、先程話題になりましたゆめたろうプランというのが「4. 質の高い教育」、「11. 住み続けられるまちづくり」が該当すると思います。千頭先生の出していただい



ている資料の中に、幸福度調査として6才未満の子供がいる家庭が武豊町に住んでどれくらい幸せ度を感じているかという部分が住み続けられるまちづくりにつながっていると思います。

SDGsというものが、どの市町村も去年や今年から興味を持たれて取り組みをしていると思います。私達も今試行錯誤しながら推進をしているところですが、例えば役場の方でカードゲームなどを通じて我々で協力できることがあると思います。

曾根 土曜日にもNPO法人知多から世界への磯貝様と知り合いました、イギリスに旅立つ子供たちに向けて、SDGsの推進ということでカードゲームを実施させていただきました。実は難しく考えないで、簡単に考えてもらっているのだよということを子供たちに、説明をさせていただきました。私達も彼女が言ったみたいに、初めから分からなくて常に勉強ということを言っています。実際のところそう難しいことでは無いのですよということ伝えたい。17も目標があると大変に思うかもしれません。彼女が武豊町さんの取り組みにこの2つの項目が当てはまると言ったのは、普段からの取り組みが17の項目のどこかに当ては

まるのかということ、4と11に該当するということ。17の項目を掲げているということは、目標値を世界中の皆に示しているということなのです。この目標値を2030年までに達成しましょうということなので、これを少しでも身近に感じていただくために、青年会議所はカードゲームを通じて推進をしています。

町長 17分の2だからまだまだだね。

曾根 項目を当てはめようと思えばまだまだ当てはめられると思います。ただ、「ゆめたろうプラン」の中での抜粋をしていますので、2つということになっていますけど、たとえば産業に関してという内容ですと、もつとあると思います。何にあてはまるのかということを意識するだけでも、SDGsに取り組んでいると言えると思います。

その時にSDGsとはこういうことねという気付きをしていただく機会になれば良いなと思います。千頭先生の講演で行政の方々がこのような話を聞いているのであればなおさら少しお役にたてるのではと思います。

磯貝さんは子供たちだけゲームをしていましたので自分たちもカードゲームに参加していれば良かったと言ってください

いました。

行政の方が勉強会をしているということをお聞きしますと、ぜひとも呼んでいただければお役に立てたのかなと思います。

町長 幅広い内容になっていますから、どこまでやったらやったと言えるのかどうなのかというところが、水と衛生とかね。世界200カ国近い中で生水が飲めるのが8カ国位しかないというような状況がありますし、インドですとトイレが川だというようなこともあるし、日本海にも外国からプラスチックがガンガン流れてきているよね。伊藤忠彦先生とこの前福井にご一緒させていただいて、海を見ますとプラスチックのゴミがたくさんあって、外国から来ているのですよという説明を受けました。ハワイも同じで



すよね。ワイキキビーチはきれいな状態ですけど、ゴミが集まっているところは結構有ってなんとか対処したいという動きはあるみたいですけど。だから、世界が一緒になって取り組まないと進んでいけないといけないのかなという気がしますね。

曾根 実際このゲームを体験していただける声というのは、意外に身近だったのだねというのは感じていただいています。世界の国連の、と聞くと自分たちからは遠い話のように思われているのですけど、実際私達も思いますが、そうではなくて、もう少し身近なところから取り組んでいければ実際は変わってくるのかなというところです。

町長 だから、そういった活動もある意味日本では積極的に取り組んでやっていると思うのですよね、例えばうちは結構ごみ処理についてはお金をかけているのですよ。ごみ処理に5億円位かけていて、で尿尿処理に7000万円。ですから約6億円近くのお金が自然に出ていってしまふ。それは何故かといいますとエコステーションというものを造っていて、朝9時から15時まで土日も開いています。この前の10連休もやっていたと思います。ですからどなたでも持って来る

ことができる。原点は武豊に事業所がいっぱいあり三勤交代制で働かないといけない。となると決められた日にゴミを捨てることができない人が出てきていて、でしたらその人達のために週2回から3回になって、結果的に毎日になって土日もあるということになったというわけですね。

曾根 それからなのです。確かに三勤二休とかですとそうなりますね。

町長 そうです。そしてそこからスタートしてどんどんサービス提供ということになりました。最初は武豊高校の方にあったのですが、交通が不便でしたので大足の臨海部の方にもう1箇所造りました。が、そこも結構いっぱいになっています。

町内の人だけではなく、外部の方も便利だと思つて捨てにきているのではないかなというところが議会でも話題になりました。たまには免許証の確認とかも今後実施していかないといけないのかなという話にはなっています。

ですから、武豊は環境面に関しても非常に優しい対策をしています。また、プラはプラでエイゼンさんという業者が集めて再利用するようにしているし、これから国の総理大臣が許可したと思います。が、法律が変わってバーゼル条約かな、

プラスチックを2年後には事業者が出すものを自治体が処理しなければならぬというように動きになるように国が動いていると新聞にも掲載されていました。そして先日伊藤先生にお会いした時に聞いたらそのとおりだと教えていただいたので、そこで自治体としての声を上げていかなければいけないとおっしゃっていました。何故企業のゴミを自治体が処理する必要があるのか、企業は営利行為なのでから企業で処理すれば良いではないかという声を自治体としてあげていけないといけないと思います。

町民のゴミは行政の仕事ですから当然処理はしますけど。ですからそのような活動自体はすでにどこまでかということはありませんが、展開をしているものもあります。

曾根 そうしますと7番のクリーンにというところが当てはまってくると思います。実はSDGsは17の目標はありますけども、その下に三相構造になっています。町長のおっしゃるとおり、どこまでやればいいのかとは思いますが。

町長 そうなりますと先程の話ではありませんが、100点はなかなかとれないわけですね。やれるところから1歩ずつ着実に進めていくというようなことか

なと思います。ジェンダー平等というところでも、今日の新聞記事だったと思いますが、シカゴの市長が初めて女性の市長になったと掲載されていましたけど。

曾根 確か、初の女性で黒人で同性愛者の方だと思っています。

町長 そのような方は結構いますね。このあいだアメリカに行った時にお会いした市長が男性だったんですけど、「Introduce My husband」と言われて聞き間違えたかなと思うくらい驚いたことがありましたけど、その言葉通りに男の人を公式な場で紹介されました。日本人の感覚からすると驚きですけども、向こうでは当たり前のことなのかと思います。それこそジェンダー平等社会ということなのかもしれませんね。

曾根 ジェンダーというと女性とか男性とかあると思うんですけど、多様性を受け入れるというところが強いのかなということは感じました。男女と分けられてしまうと、女の人を取り立たされていまずけど、男女で考えるということよりも多様性を受け入れる社会になることが、ジェンダー平等のような気がします。その、シカゴの市長ではないですけど。

町長 それも進んでいくのではないですか、社会の進歩とともにね。昔だったら考えられないことでしょうけど。でも、江戸時代には結構あったみたいです。

また、万葉集にも男性の同性愛を歌った歌が非常に多いらしいです。あなたのことを想ってこの歌を歌いましたというのが原点で、エネルギーなのです。エネルギーになるからあれだけの想いを込めた短歌や俳句が出来る。こういうことは面白いとは思いますが、学校の歴史の授業では教えてくれないですね。教えてくれているなら、テストでも少し良い点が取れていたのかもしれないですね。

曾根 学校では万葉集と言いますと高貴な感じのイメージで習ってきている気がします。古今和歌集とかもですね。

町長 人が生まれてから何千年とそういうことが起きていたということですね。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



曾根 先程町長がおっしゃったこともそうですね。47年に今のゆめたろうプランを考えていて、実際に今はそのプランのとおりになりつつある。今自分たちが30年先のことを考えたときにどうなっているのだろうと考えて、そうならないだろうと思っていることでも、そうやってしまっているのかもしれないですね。

町長 そうですね。

曾根 車でも自動運転のように手を離しても運転ができてしまうようになるなど、思いもつかないようなことが30年後には起こっているのかもしれないですね。

町長 よく100年後の夢を描きなさいという課題があつてそれらを紐解いてみると、けっこう8、9割実現しているそうですね。例えば動く車とか描かれていますけど、100年前では考えられない技術だと思えますし、今そういったものを残しておくのもおもしろいかもしれませんね。

実は武豊町では5年後にイベントがあります。町政35周年の時に武豊騎手にお越し頂き、35年後の町政70周年の時にになったら開けようとしているタイムカプセルがあります。物が腐食しないようににガスを入れていて、作文とか、通知

証とか商工名鑑とか入っているということとは分かっていますが、誰が書いたか分かりません。

曾根 5年後にそれを開けるといことですね。

町長 そうです、5年後にそれを開けるので、武豊さんに案内を送ったのですけども、返答がないので寂しいところです。当時の町長だった青木さんと5、6名で撮影した写真を送っていますので、見ていただけたら思い出して返事くるかなとは思っています。以前、名古屋のホテルで2ショットの写真は撮影したのです。今のうちから確認をしていかなければと思っています。

武豊の特徴については色々と話をさせていただきました。教育関係にも力を入れていきますし、スクールソーシャルワーカーの配置もしています3年ほど前から。ブラジル出身の方で、ポルトガル語、英語、中国語などを喋れる方が学校教育課にいて色々と手伝ってもらっています。子供同士では日本語で話ができても親御さんに話が伝わらないということがあって、これを何とかしたいと思うっています。ですから、学校でそのようなトラブルがあると、その人に対応していただいております。彼は30前後くら

いの優しい男性で、ブラジルに両親も兄弟もいないので、余計なお世話かもしれませんが、それなら日本でお嫁さんをもらって日本に住めば良いと言っているのですけど、まだそこまで考えていないみたいですね。出来たら、これからも日本で生活していつて欲しいです。

曾根 そんな方がいらっしゃるのですね
町長 そうなのです。ですので、町としても大変助かっていまして、ありがたいと思っています。

それから熊本のかまもんではないですが、新人には「皿を、割れ」と言っていますが、なかなか皿を割れないのだよね。是非皿を割るくらいの勢いをみせて欲しいのですけど。



画像は[魔界帝王デスカイザーF B](#)より

くまモンは熊本県知事に言わせると一番仕事をすると。県庁の職員なのですよね。ただ喋ってはいけなないと。喋ったらゆるキャラではなくなると。

注)「皿を、割れ」とは、「皿をたくさん洗う人は、割っても良い」という考えで、当時の熊本県の蒲島知事の「責任は私が取りますから。いいことをやろうとして皿が割れてもこれは許される。」という話より。

間瀬 武豊にもデスカイザーというゆるキャラがいますよね。

町長 そうです。役場の職員も頑張っています。

間瀬 そして、全然ゆるくないですね

町長 確かに全然ゆるくない

曾根 そういえば先週新しいキャラクターが発表されたとお聞きしましたが。

町長 そう。みそたろうくんね。これが全国から400件応募の中で金メダルになった子です。

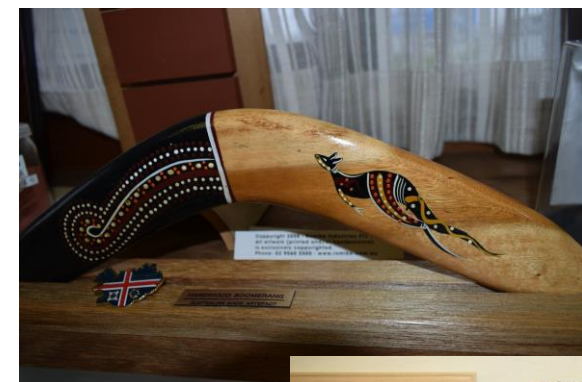
これ、みんなが選んでくれた子で、私の孫娘にみせたらこれ可愛いって言うてくれています。このキャラクターのTシャツができるので買ってあげると言ったら、それとこれとは違うので、勘弁してって言われましたけど。

曾根 もう、これで決定なのです。

町長 はい、これで決定です。これで着



ぐるみもできてきますね。武豊町はゆめたろうの「たろうくん」と「ひめちゃん」が元々いましたが、遅れ馳せながらできましたね。醤油をぶら下げているキャラクターも珍しいかなと思います。喉が乾いても醤油なので飲めませんけど。



光初等学校と言うのがあって、キリスト系の立派な小学校で1年生からネイティブスピーカーがついて英語を教えているそうです。校長先生と教頭先生と知り合いになりました、小学校との行き来もあります。

そういった形で韓国の大光と30年くらいつながっている、いろいろとこういったものがあります。

これは愛知万博が縁でいただいたフィジーのカメレオンの置物で、ブーメランはオーストラリアのものです。



曾根 武豊町はオーストラリアのケアンズとも交流があるのでですね。

町長 そうです、小学校の5、6年生、中学校1年生くらいが。行ったり来たりと交流をしています。ケアンズも長く交流がありますね。どうしてケアンズと交流が始まったかという、当時小牧空港の方から直行で行けるのがケアンズしかなかったからです。

これは、オーストラリアの大きな石炭で、これだけ大きいものは珍しいようです。碧南の火力発電所は400万キロワットあり、大きな船一艘分、2、3日で

燃やしてしまうようです。武豊の火力発電所は107万キロワットなので、その4分の1位になると思います。

このレンガは東京駅で使われたものですけど、常滑の「アカイタイル」さんが武豊の土を使って焼いたものなのです。

温度調整が難しく、焼きすぎてもいけないし、この角がピシッとならないと製品にならないそうで、そこが技術者の腕の見せ所だと聞いています。これが東京の八重洲口出た所に使われていて、レンガを見て触ることが出来ます。東京駅はすべてを新しくキレイにしたわけではなく、古いものを活かしながらなんですよね。でも同じものはあちらでは作れないそうです。元々は埼玉の方でレンガは作られていたそうですが、今は武豊の粘土を使ったレンガなのです。

武豊は味噌・たまりだけではないのですよ。

曾根 ありがとうございます。それは武豊町の魅力をしっかりと発信して参ります。

本日は長時間対談いただきありがとうございます。

SDGsの推進などで、何かありましたらお声掛けをいただければと思っています。

町長 こちらこそありがとうございます。青年会議所さんが対談という形で町役場にくるのは初めてのことだと思おうので、張り切っていました。



糸山 芳輝 様

昭和22年7月12日生まれ。

愛知大学法経学部法学科卒業。

郵船航空サービス株式会社に勤務したのち、昭和47年武豊町役場入庁後、産業課長、企画課長、企画情報課長、総務課長などを歴任し、平成17年4月27日より武豊町長に就任し、現在4期目を務められています。